【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公表番号】特表2021-510610(P2021-510610A)
【公表日】令和3年4月30日(2021.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2021-020
【出願番号】特願2020-558682(P2020-558682)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ　29/08　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　25/10　(2013.01)
Ａ６１Ｌ　29/04　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　29/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ　29/08　１００
Ａ６１Ｍ　25/10
Ａ６１Ｌ　29/04　２００
Ａ６１Ｌ　29/16

【手続補正書】
【提出日】令和3年9月6日(2021.9.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
バルーンカテーテルのバルーンをコーティングする方法であって、
前記バルーンの表面が、多糖を含む第１の溶液によって少なくとも部分的に湿潤され、
前記第１の溶液で湿潤された前記バルーン表面の部分が、活性物質を含む少なくとも１種類の第２の溶液で湿潤され、
前記バルーンの前記表面が、多糖を含む第１の溶液で少なくとも部分的に湿潤される前に、活性物質を含む基準溶液で少なくとも部分的に湿潤されることを特徴とする、
方法。
【請求項２】
前記第２の溶液により前記活性物質で湿潤された前記バルーンの表面の部分が、水および／または少なくとも１種類のアルコールを含むさらなる液体で再び湿潤されることを特徴とする、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記水および／または少なくとも１種類のアルコールを含む液体が、アルコールおよび／またはケトンを含むことを特徴とする、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記液体中の前記アルコールおよび／またはケトンの濃度が、１０～７０％（ｖ／ｖ）の範囲であることを特徴とする、請求項２または３に記載の方法。
【請求項５】
前記液体が、エタノール、メタノール、アセトンおよび／またはイソプロパノールを含むことを特徴とする、請求項３または４に記載の方法。
【請求項６】
前記第１の溶液および／または前記第２の溶液が、１種類または数種類のアルコールを

含むことを特徴とする、請求項１～５のいずれか１項に記載の方法。
【請求項７】
前記第１の溶液および／または前記第２の溶液が、エタノール、メタノール、および／またはイソプロパノールを含むことを特徴とする、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記多糖の平均モル質量が、１０，０００～１００，０００，０００Ｄａの量であることを特徴とする、請求項１～７のいずれか１項に記載の方法。
【請求項９】
前記多糖の平均モル質量が、２０，０００～８０，０００Ｄａの量であることを特徴とする、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
前記多糖が水溶性であることを特徴とする、請求項１～９のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１１】
前記多糖がデキストランであることを特徴とする、請求項１～１０のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１２】
前記使用される活性物質が、以下の群：トレチノイン、オーファン受容体作用薬、エラフィン誘導体、コルチコステロイド、ステロイドホルモン、パクリタキセル、ラパマイシン、タクロリムス、疎水性タンパク質および／または細胞増殖を修飾する物質
から選択される、疎水性の活性物質であることを特徴とする、請求項１～１１のいずれか１項に記載の方法。
【請求項１３】
バルーンカテーテルのバルーンであって、その表面が、請求項１～１２のいずれか１項に記載の方法により得られる活性物質を含むコーティングを少なくとも部分的に備える、バルーン。
【請求項１４】
請求項１３に記載のバルーンを備えるバルーンカテーテル。
【請求項１５】
前記多糖が、前記バルーンの表面上に提供され、前記活性物質が、前記多糖を少なくとも部分的に被覆することを特徴とする、請求項１４に記載のバルーンカテーテル。